

○生涯学び未来を育てるまちづくり

未来をつくる教育の推進については、教育大綱における基本目標も踏まえて事業を展開していく。

教育環境の充実については、タブレットの更新を行い、授業でのデジタル機器の活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実による学力の向上を目指す。

不登校対策として、令和6年度に大栄中学校に設置した「校内教育支援センター」を北条中学校にも設置し、支援の充実を図るとともに、ケアなど支援を必要とする子ども達に、一人ひとりの状況に応じた最適な支援ができる体制を充実する。

学校給食では、食材の購入価格の高騰が続いている、令和7年度においてもこの増額分を町が負担し、保護者の負担緩和を図る。

地域を支える人材の育成については、学校や家庭を含む地域社会全体で将来を担う子どもたちへの関わりづくりとして、「家庭教育12か条」や「あいさつ運動」を推進するとともに、地域学校協働活動の充実を図る。

また、出前講座については、ニーズに沿った講座となるよう充実に努める。

生涯学習活動の推進については、中央公民館において仲間づくりや生きがいづくりなどの講座を開催し、町民の教養の向上を図る。

図書館では、読書の推進はもとより、幅広い世代の人が集い交流できる図書館、気軽に何度でも訪れたくなるような図書館を念頭に、魅力化を図る。

また、中央公民館大栄分館の建替えについては、ほくえい未来ラボでの提案を

設計に反映させ、新たな学びと交流、防災の拠点となることをめざし、令和 8 年 1 月には現公民館の解体工事への着手を予定する。

子育て支援の充実については、妊産婦、子育て世帯、こどもへの一体的に相談支援を行うこども家庭センターの令和 8 年度の設置に向け、検討を進める。

結婚、出産、子育てに安心、喜びを感じられる環境づくりでは、妊娠期や出産期における面談を実施し、必要な支援サービスへ確実につなげていくとともに、子育て支援センターの利用を進め、妊産婦が子育ての中で孤立しない環境づくりを進める。

また、出産時のほくほくカードポイントの給付や、小中学校の入学時の祝金給付により、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。

町立こども園については、発達段階に応じたきめ細やかで連続する保育・教育の推進に取り組むとともに、適切な修繕工事などを行い良好な環境の維持に努める。また延長保育、病児・病後児保育、休日保育、放課後児童クラブなどの保育サービスを適切に実施する。

大栄こども学級については、大栄小学校に隣接する勤労者体育センター跡地へ移設し、児童が安心して通い、安全に過ごすことのできる居場所を提供する。

文化・芸術の振興については、「文化の薫るまち北栄町」として北栄町美術展をはじめとした北栄文化回廊や公民館まつりなどを開催する。

特に、町制施行 20 周年企画として、北栄みらい伝承館で町内の文化財を紹介する企画展を開催するほか、文化財の保存・活用を進め、地域の特徴を知り、郷土への愛着心を育む取組を実施する。

スポーツの振興については、町制施行 20 周年企画として、すいか・ながいも健康マラソン大会にゲストランナーを招聘する。

また、北栄町、倉吉市を会場として開催される全国高等学校総合体育大会の自転車ロードレースにむけ開催準備を進める。

北栄スポーツクラブやスポーツ推進委員と連携し、町民の健康寿命の延伸や地域のコミュニティづくりにつながる活動を推進する。

鳥取中央育英高校の存続に向けては、地域ぐるみで高校の魅力化を進め、入学者の増加を目指す。

さらに、若者が夢や価値観を表現し、地域で成長していくような機会を創出し、若者の活躍と将来地域を支える人材育成に取り組む。